

科目コード	N222
授業科目名	症状マネジメント
授業科目名(英文)	Symptom Management
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	立石 和子
授業の概要	臨床において頻繁に遭遇する症状について、その発生機序および病態生理を理解する。また、対象者の反応を的確に把握し、適切な臨床判断を行う能力を養成する。さらに、症状を有する対象者の生活の質(QOL)への影響を踏まえ、看護に求められる支援の在り方について学修する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 主要な症状のメカニズムや発生機序を説明できる 2. 症状の予防や緩和に対するアプローチを根拠に基づき説明できる 3. 症状緩和のための具体的な援助を説明できる
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	筆記試験(60%)、グループワーク参加状況・グループ発表(40%)を総合的に評価し、60点以上を合格とする。
教科書	根拠がわかる症状別看護過程 改訂第4版 百瀬千尋/井澤晴美編集 南江堂 2023年 978-4-524-22537-8
参考書	適宜紹介する
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R8.5.11	月	Ⅲ	ガイダンス・症状マネジメントの考え方	講義+ミニグループワーク	立石 和子		
				予習 「症状とは何か」「症状によって困った経験」について考えてくる				
				復習 症状マネジメントとは何かを自分の言葉で整理する				
2	R8.5.18	月	Ⅲ	痛みのメカニズムと看護ケア	講義+グループワーク	立石 和子		
				予習 配布資料を用いて、痛みの種類・特徴・評価方法を整理する				
				復習 痛みを評価する際に看護師が留意すべき点をまとめる				
3	R8.5.25	月	Ⅲ	倦怠感の理解とアプローチ	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 倦怠感の原因、評価、患者の生活への影響を調べる				
				復習 倦怠感に対する看護師の支援内容を整理する				
4	R8.6.1	月	Ⅲ	栄養・代謝系症状の理解と看護(発熱)	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 発熱の原因、観察ポイント、患者の困りごとを整理する				
				復習 発熱時に必要な看護援助と生活調整をまとめる				
5	R8.6.8	月	Ⅲ	栄養・代謝系症状の理解と看護(悪心・嘔吐)	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 悪心・嘔吐の要因と患者への影響を調べる				
				復習 悪心・嘔吐に対する看護師の関わりを整理する				
6	R8.6.15	月	Ⅲ	呼吸器系症状の理解と看護(呼吸困難)	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 呼吸困難の評価項目と患者が感じる不安について整理する				
				復習 呼吸困難時における看護師の役割をまとめる				
7	R8.6.22	月	Ⅲ	循環器系症状の理解と看護(浮腫)	グループワーク・発表	立石 和子		
				予習 浮腫の原因、評価方法、生活への影響を整理する				
				復習 浮腫に対する看護介入および生活指導をまとめる				
8	R8.6.30	火	Ⅳ	複合症状の統合的マネジメントとフィードバック	グループワーク・講義	立石 和子		
				予習 これまで扱った症状を振り返り、症状の組み合わせを考える				
				復習 症状マネジメントにおける看護師の視点を総				